

## 鳥取大学病理専門研修プログラム

### 1 プログラム概要

- (1) 鳥取大学医学部附属病院を基幹施設として、主に山陰両県の関連病院を連携施設とするプログラム。
- (2) 研修期間は3年間。
- (3) 原則、基幹施設で6か月、連携施設で3か月以上の研修が必要。
- (4) 基本コースは、基幹施設で基礎的な病理診断技術を習得し、2年目以降から連携施設とのローテーション研修をし、希少例や難解症例を交えて研修。
- (5) 希望によっては、連携施設からの研修スタートや、大学院と病院研修の両立も可能。

### 2 研修モデルコース例



### 3 基幹施設・連携施設

	施設名称
基幹施設	鳥取大学医学部附属病院
連携施設1群	鳥取県立中央病院
連携施設2群	鳥取赤十字病院
連携施設2群	鳥取市立病院
連携施設2群	山陰労災病院
連携施設2群	米子医療センター
連携施設2群	鳥取県立厚生病院
連携施設1群	防衛医科大学校病院
連携施設2群	松江赤十字病院
連携施設2群	松江市立病院
連携施設3群	公立八鹿病院

鳥取県知事が指定する病院

自治医大卒・特別養成卒卒医師の勤務先医療機関については、制度別キャリア形成プログラムをご覧ください。